

## ディベート 議論の練習のためのゲームです。

1. 1つの論題について話し合う
2. 肯定側否定側に機械的に分けられる
3. 一定のルールに従う
4. 証明された議論を戦わせる
5. 審判によって判定が下される

特定非営利活動法人全国教室ディベート連盟HPより

## ディベートの効能

1. 問題意識を持つようになる。
2. 自分の意見を持つようになる。
3. 情報を選択し、整理する能力が身に付く。
4. 論理的にものを考えるようになる。
5. 相手（他人）の立場に立って考えることができるようになる。
6. 幅の広いものの考え方、見方をするようになる。
7. 他者の発言を注意深く聞くようになる。
8. 話す能力が向上する。
9. 相手の発言にすばやく対応する能力が身に付く。
10. 主体的な行動力が身に付く。
11. 協調性を養うことができる。

Wikipedia ディベートより

## 論 題

### ▶ 価値論題：ある事柄が良いか悪いかを扱う

- 援助交際は悪である
- A社とB社では、どちらがエクセレントカンパニーか

### ▶ 事実論題：ある事柄が有るか無いかを扱う

- 200X年までに石油資源は枯渇する
- 邪馬台国は北九州にあった

### ▶ 政策論題：ある事柄が行われるべきか行われざるべきかを扱う

- 日本は消費税を20%にすべきである。是か非か
- 日本はギャンブル税を導入すべし。是か非か

Wikipedia ディベートより

## 構 成

### 立論

自説を論理つけて説明し、これから行うディベートの論点と論拠を明確にするパート。

### 尋問（質問）

相手の立論に対しての質疑応答のパート。  
目的は、相手の立論の内容で不明確な点があれば、それを明確にすること。

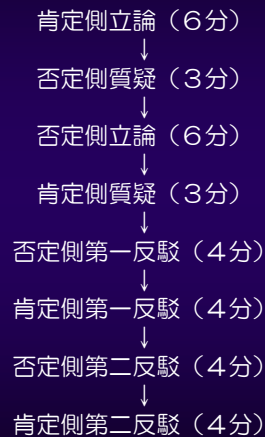
### 反駁（反論）

立論の中で出てきた論点にそって、議論を深めるパート。相手の議論に対して反駁しない場合は、認めたことになる。

### フォーマットの例（競技ディバートの場合）

各スピーチでの持ち時間は、ステージごとに決められています。

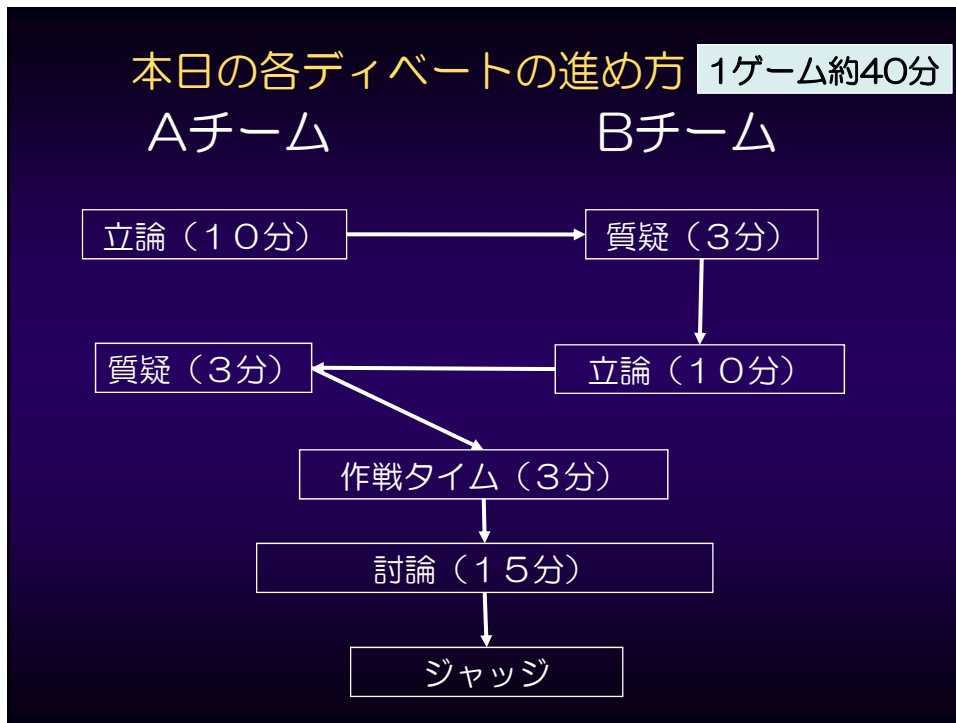
・スピーチの順番は以下の通り。



・準備時間が、各スピーチの前に1分ずつ（肯定一駁・否定二駁・肯定二駁の前は2分）与えられる。

### ディバートの基本ルール

1. 非礼行為は慎まなければならない
2. 主張をジャッジに伝えなければならない
3. 時間を守らなければならない
4. 主張には根拠がなければならない
5. 相手の主張に反論しなければならない
6. 反駁で新しい議論を持ち出してはならない



## 症例 1

- 45歳閉経前女性、T3N1M1 stage IV乳癌
- 腫瘍マーカー高値でCTで多発肝転移、
- 肺（－）骨（－）
- 原発巣のCNBでER(-), PgR(-), HER2(3+)
- Herceptin + Paclitaxel weekly治療開始
- 3か月後のCTで肝転移、腋窩リンパ節：CR, 原発巣：PRとなった。

**A** A: このまま全身治療を継続

**B** B: 原発巣を切除後、全身治療を継続

## 症例 2

- 38歳閉経前女性、T2(3.0cm)N1M0 stage IIB
- 術前化学療法を予定して原発巣のCNB施行。
- ER(-), PgR(-), HER2(-)の所謂triple negative乳癌であった。
- CNBの病理組織診断は、solid tubular carcinoma, HG:3
- 画像的にも境界明瞭な圧排性の腫瘤である。

C

A: 予定通り術前化学療法を施行

D

B: 先に手術を施行

## 症例 3

- 73歳女性、T2N0M0 stage IIA
- 乳房切除術+SLNB施行
- 病理組織診断：papillo-tubular carcinoma, t=2.6x2.4, n:0/2(SLN), HG:3,
- ER:8, PgR:5, HER2:3+
- PS:0, EF:65%, 心疾患の既往なし, 骨密度：Tスコアー：-0.5(低下なし)
- 術後療法は？

A

A: 化学療法+AI剤+ Herceptin

C

B: AI剤+Herceptin

## 症例4

- 57歳閉経後女性、T2N0M0 stage IIA乳癌でBp+SLNB施行。
- 術後病理結果にて、solid tubular carcinoma, t=2.3x2.2cm, HG:3
- ER(-), PgR(-), HER2(-)
- 術後FEC100 x 6cycle施行。
- 術後1年9か月で、腫瘍マーカーが上昇して検索したところ、鎖骨上リンパ節再発と、CTで肺に1.5cm, 2cmの転移あり。
- 本人は、少しでも長く延命可能な治療を希望

- B** A: 抗がん剤単剤治療(Doc, Pac, Xelodaなど)
- D** B: 抗がん剤併用療法(D+X, P+X, XCなど)